

第2章 計画地の現況

2-1. 計画地の現況

(1) 計画地内施設

計画地には主に以下の施設が立地しています。

【計画地内施設】



③大芝生広場



④つつじが岡ふれあいセンター



⑤カスケード



⑧大徒渉池



⑩水生植物池



⑫旧管理事務所(倉庫等)

⑬サイクリングターミナル

- ・ サイクリングターミナルは、宿泊施設やレストラン、自転車のレンタル等の機能を有した施設として平成5年度にオープンし、つつじまつり等の来訪者の宿泊や学生団体等の合宿に利用されてきました。
- ・ 平成 24 年度から指定管理者による運営を開始しましたが、施設の老朽化が進行し、平成 29 年 4 月より施設の運営を休止しています。
- ・ 施設における除草等は実施していますが、再開に向けては設備等の修繕のほか、新たなニーズに合わせた再整備が必要となります。

【サイクリングターミナル】



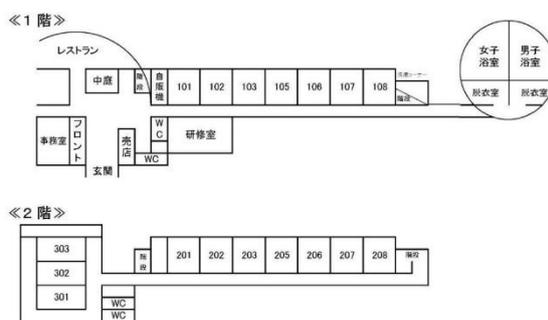
南側外観



北側外観



レストラン



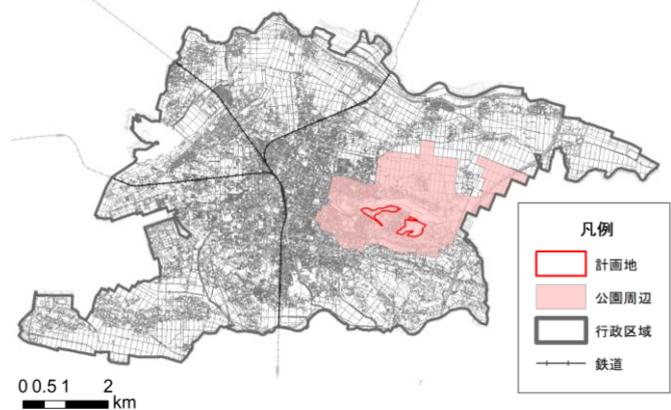
施設平面図

(2) 計画地周辺の人口及び土地利用の状況

計画地周辺(つつじ町、城町、尾曳町、当郷町、松原一丁目、松原二丁目、楠町、花山町)には約9.5千人、市の人口の約12.4%が居住しています。計画地周辺の人口密度は13.1人/haとなっており、市全域の人口密度は12.6人/haとなっています。

土地利用の状況を見ると、計画地周辺は畑や住宅用地が多くなっています。つつじが岡公園正門周辺は、商業用地となっており、つつじの観光客をターゲットとして期間限定で営業する商店が立地しています。

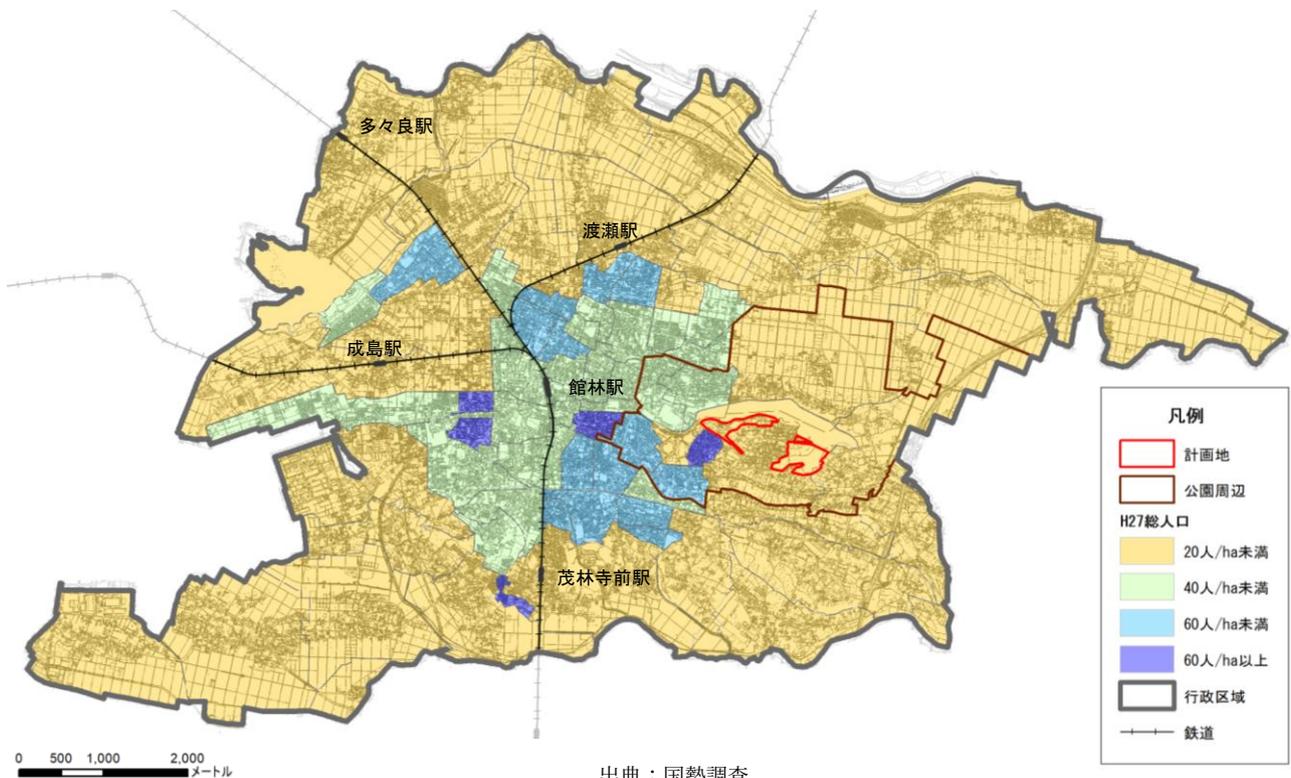
【集計対象エリア】



【つつじが岡公園周辺の人口と人口密度】

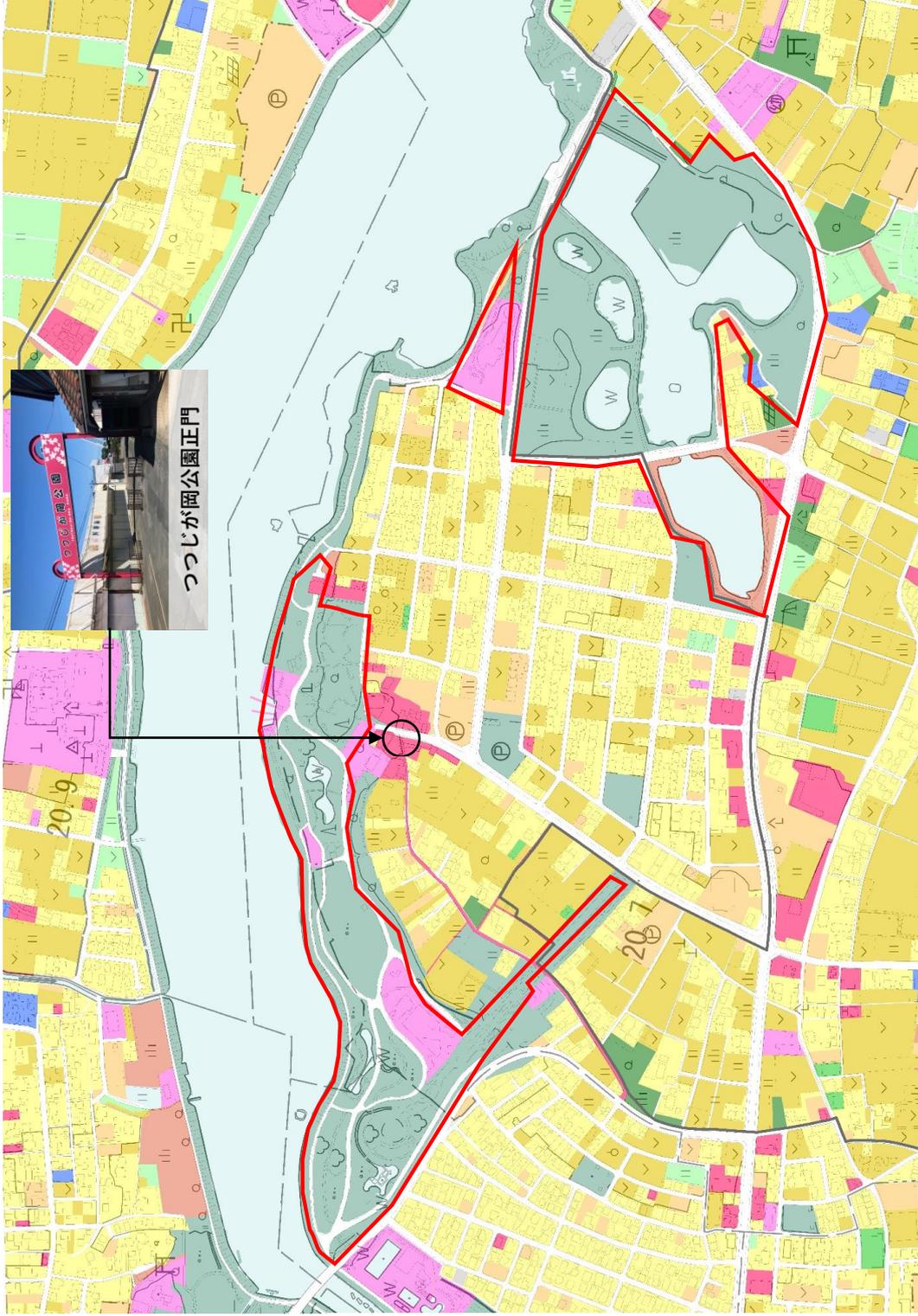
	人口	人口密度
館林市全域	76,667人	12.6人/ha
公園周辺	9,493人	13.1人/ha
公園周辺の人口割合	12.4%	

【H27 人口密度】



出典：国勢調査
館林市 発行 1/25,000 都市計画図

【計画地周辺の土地利用の状況】



凡例

計画地	市街化区域	1: 田	2: 畑	3: 山林	4: 水面	5: その他自然地	6: 住宅用地	7: 商業用地	8: 工業用地	9: 農林漁業施設用地	10: 公益施設用地	11: 道路用地	12: 交通施設用地	13: 公共空地	14: その他公的施設用地	15: その他の空地
-----	-------	------	------	-------	-------	-----------	---------	---------	---------	-------------	------------	----------	------------	----------	---------------	------------

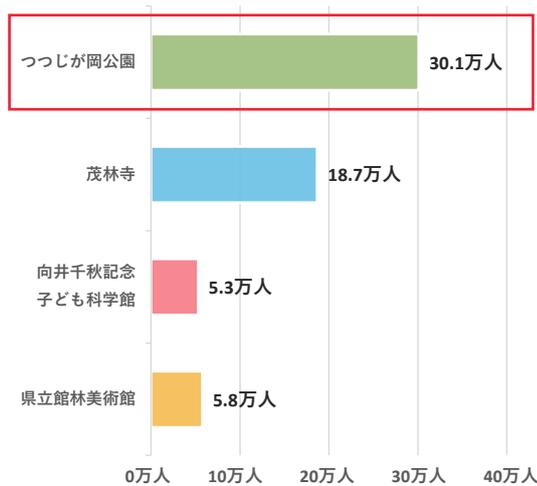
出典：群馬県都市計画基礎調査
館林市 発行 1/25,000 都市計画図

(3) つつじが岡公園の利用状況

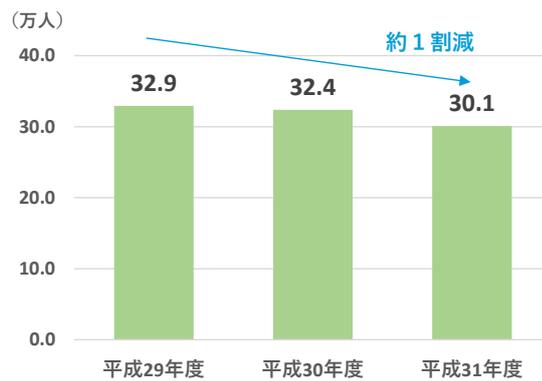
①観光入込客数の減少

- ・ 本公園の観光入込客数は年間 30.1 万人で、市内の主要観光地である茂林寺の約 1.5 倍、子ども科学館や県立館林美術館の約 5 倍と、市内有数の観光名所です。
- ・ 本公園の観光入込客数の推移では、平成29年度の 32.9 万人から平成31年度には 30.1 万人と 3 年で約 1 割減少しています。

【平成 31 年度 観光入込客数の割合】



【つつじが岡公園の観光入込客数推移】

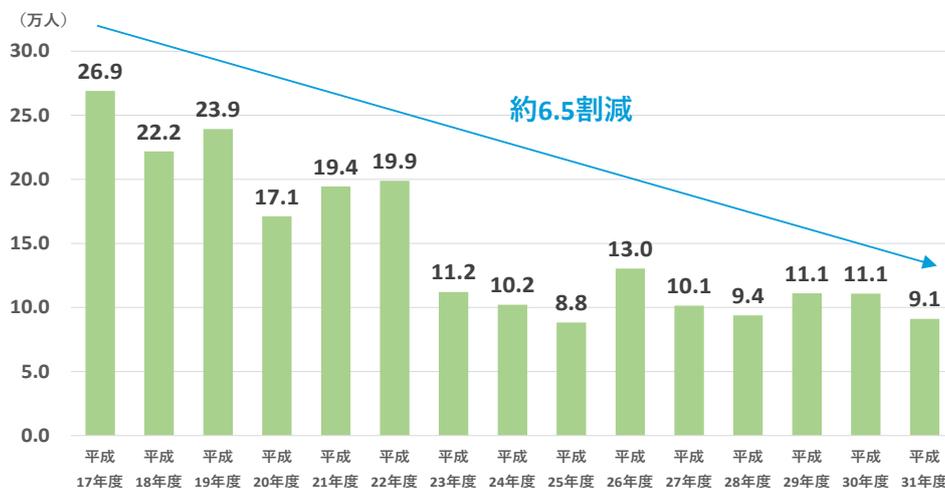


出典：館林市資料

②つつじまつり有料入園者数の減少

- ・ 毎年 4~5 月に集客力の柱を担う“つつじまつり”が開催されています。
- ・ つつじまつりにおける有料入園者数は、平成 17 年度の 26.9 万人から平成 31 年度には 9.1 万人と約 6.5 割減少しており、集客力が低下しています。

【つつじまつり有料入園者数推移】

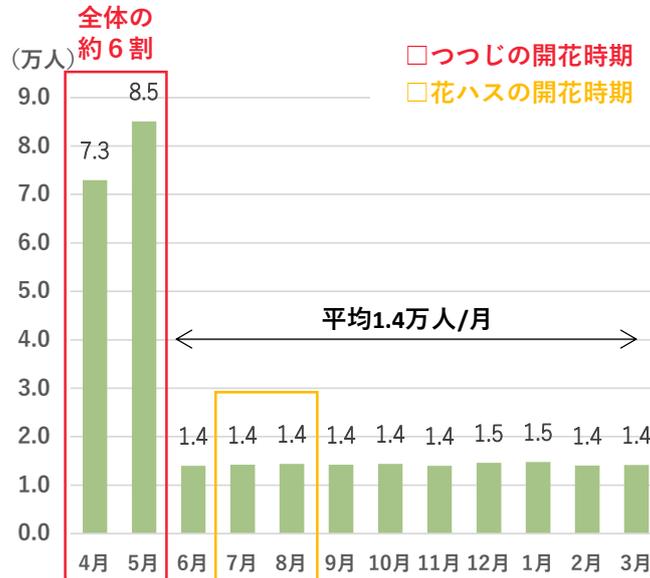


出典：館林市資料

③来訪シーズンの偏り

- ・ 月別の観光入込客数では、4～5月の入込客数が全体の約6割と、つつじの開花時期に来訪が集中しており、その他の時期は1.4～1.5万人/月程度の利用に留まっています。

【平成31年度 月ごと観光入込客数推移】



出典：館林市資料

④つつじが岡公園の宿泊需要

- ・ サイクリングターミナル休止前の平成28年度においては、一日あたり平均13.5人程度の宿泊利用であり、施設規模(宿泊定員60名)からすると稼働率は高くなかったと考えられます。
- ・ 平成25年度は6,227人宿泊していましたが、平成28年度には約4,900人と約2割減少しています。
- ・ サイクリングターミナル休止後のつつじが岡公園の観光形態では、ほぼ日帰りによる利用がほとんどであり、宿泊利用は少なくなっています。

【サイクリングターミナル休止前の宿泊者数】



【つつじが岡公園の観光形態】

	日帰り	宿泊
平成29年度	328,979人 (99.8%)	257人 (0.2%)
平成30年度	322,133人 (99.8%)	40人 (0.2%)
平成31年度	299,057人 (99.7%)	52人 (0.3%)

出典：館林市資料

⑤アンケート調査におけるつつじが岡公園の利用者特性

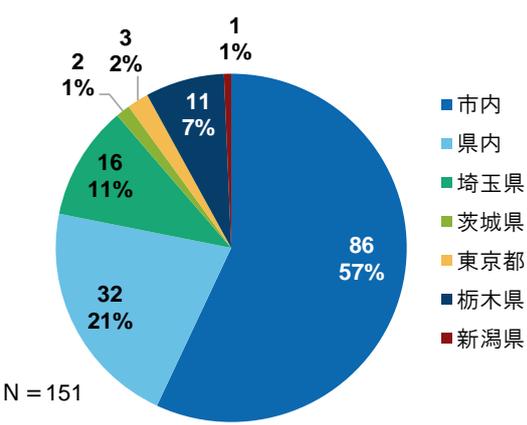
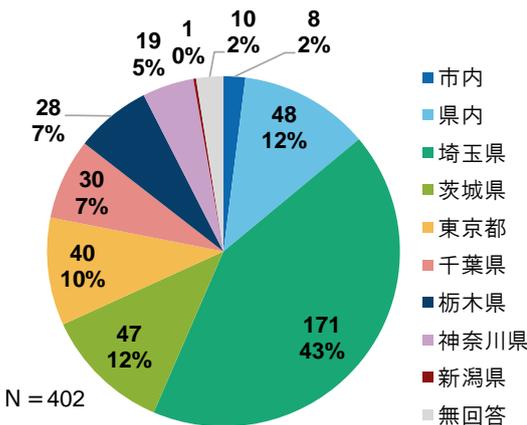
つつじが岡公園の利用者特性を把握するため、花ハスまつり開催期間及び、つつじまつり開催期間にアンケート調査を実施しました。

【アンケート調査実施概要】

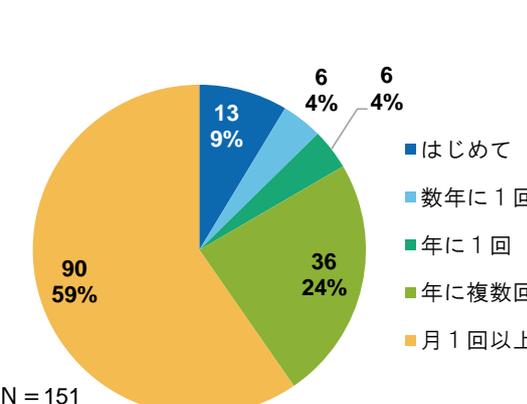
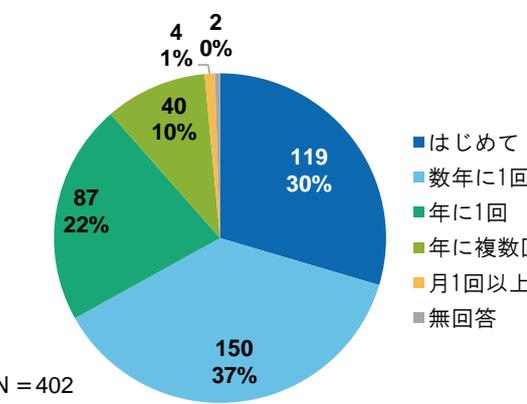
花ハスまつり開催期間のアンケート調査	つつじまつり開催期間のアンケート調査
実施期間： 令和3年8月7日(土) 9:00~16:00 回答者数：151名	実施期間： 令和3年4月17日(土)~4月18日(日) 10:00~15:00 回答者数：402名

【回答者属性】

花ハスまつり開催期間のアンケート調査	つつじまつり開催期間のアンケート調査																																																						
1) 性別																																																							
<p>回答者は女性42名、男性109名であった。 ※男女二人組の多くは男性が回答</p> <table border="1"> <caption>性別分布 (花ハスまつり)</caption> <tr><th>性別</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>女性</td><td>42</td><td>28%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>109</td><td>72%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>151</td><td>100%</td></tr> </table>	性別	人数	割合	女性	42	28%	男性	109	72%	合計	151	100%	<p>回答者は女性223名、男性179名であった。</p> <table border="1"> <caption>性別分布 (つつじまつり)</caption> <tr><th>性別</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>女性</td><td>223</td><td>55%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>179</td><td>45%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>402</td><td>100%</td></tr> </table>	性別	人数	割合	女性	223	55%	男性	179	45%	合計	402	100%																														
性別	人数	割合																																																					
女性	42	28%																																																					
男性	109	72%																																																					
合計	151	100%																																																					
性別	人数	割合																																																					
女性	223	55%																																																					
男性	179	45%																																																					
合計	402	100%																																																					
2) 年齢																																																							
<p>70代以上の回答者が最も多く、次いで60代、50代の順となった。 若年層からも幅広く回答が得られた。</p> <table border="1"> <caption>年齢分布 (花ハスまつり)</caption> <tr><th>年齢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>10代</td><td>4</td><td>3%</td></tr> <tr><td>20代</td><td>12</td><td>8%</td></tr> <tr><td>30代</td><td>22</td><td>15%</td></tr> <tr><td>40代</td><td>23</td><td>15%</td></tr> <tr><td>50代</td><td>25</td><td>17%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>31</td><td>20%</td></tr> <tr><td>70代以上</td><td>34</td><td>22%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>151</td><td>100%</td></tr> </table>	年齢	人数	割合	10代	4	3%	20代	12	8%	30代	22	15%	40代	23	15%	50代	25	17%	60代	31	20%	70代以上	34	22%	合計	151	100%	<p>60代の回答者が最も多く、次いで50代、70代以上の順となった。 50代以上が81%を占め、花ハスまつり開催期間(59%)に対し、高年齢層から多くの回答が得られた。</p> <table border="1"> <caption>年齢分布 (つつじまつり)</caption> <tr><th>年齢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>10代</td><td>13</td><td>3%</td></tr> <tr><td>20代</td><td>11</td><td>3%</td></tr> <tr><td>30代</td><td>18</td><td>5%</td></tr> <tr><td>40代</td><td>34</td><td>8%</td></tr> <tr><td>50代</td><td>102</td><td>25%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>128</td><td>32%</td></tr> <tr><td>70代以上</td><td>96</td><td>24%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>402</td><td>100%</td></tr> </table>	年齢	人数	割合	10代	13	3%	20代	11	3%	30代	18	5%	40代	34	8%	50代	102	25%	60代	128	32%	70代以上	96	24%	合計	402	100%
年齢	人数	割合																																																					
10代	4	3%																																																					
20代	12	8%																																																					
30代	22	15%																																																					
40代	23	15%																																																					
50代	25	17%																																																					
60代	31	20%																																																					
70代以上	34	22%																																																					
合計	151	100%																																																					
年齢	人数	割合																																																					
10代	13	3%																																																					
20代	11	3%																																																					
30代	18	5%																																																					
40代	34	8%																																																					
50代	102	25%																																																					
60代	128	32%																																																					
70代以上	96	24%																																																					
合計	402	100%																																																					

花ハスマツリ開催期間のアンケート調査	つつじまつり開催期間のアンケート調査
3) 居住地	
<p>市内が 57%と最も多く、次いで県内の他の市町、埼玉県、栃木県の順となった。</p> 	<p>埼玉県が 43%と最も多く、次いで県内の他の市町、茨城県の順となった。</p> <p>花ハスマツリ開催期間（館林市外 43%）に対し、遠方からの来訪者による回答が得られた。</p> 

【来訪特性】

花ハスマツリ開催期間のアンケート調査	つつじまつり開催期間のアンケート調査
4) つつじが岡公園への来訪頻度	
<p>月 1 回以上が 59%と最も多く、次いで年に複数回、はじめて、の順となった。</p> 	<p>数年に 1 回が 37%と最も多く、次いではじめて、年に 1 回の順となった。</p> <p>花ハスマツリ開催期間（はじめて 9%、数年に 1 回 4%）に対し、来訪頻度の低い来訪者が多い。</p> 

花ハスまつり開催期間のアンケート調査

つつじまつり開催期間のアンケート調査

5) アクセス

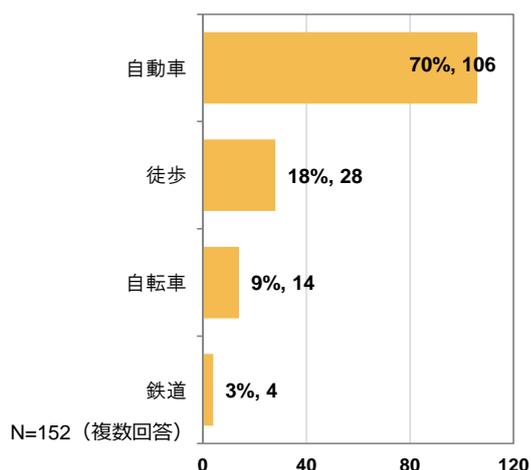
利用交通手段は、自動車が106件と最も多く、次いで徒歩が28件、自転車が14件であり、自動車による来訪が大半を占める。

所要時間は、10～30分が38%と最も多く、次いで10分以内、30分～1時間の順であり、30分以内が70%を占める。

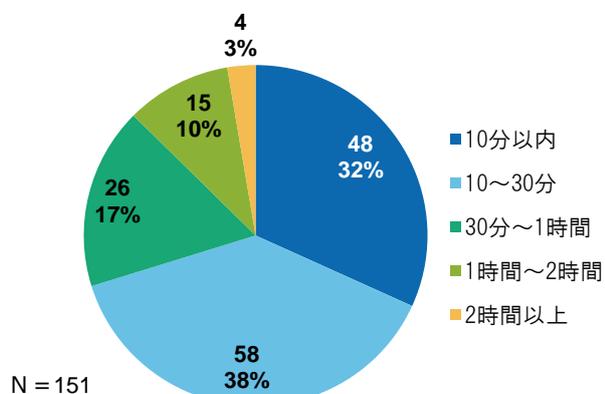
利用交通手段と所要時間から、多くの来訪者は自動車で30分圏内＝約15km圏内から訪れていることが分かる。

利用交通手段は、自動車が96%を占めている。花ハスまつり開催期間（自動車70%）に対し、自動車による来訪割合が高い。

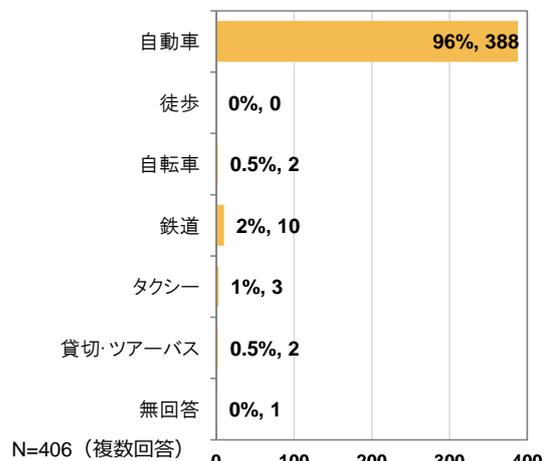
【利用交通手段】



【所要時間】



【利用交通手段】



【所要時間】

設問なし

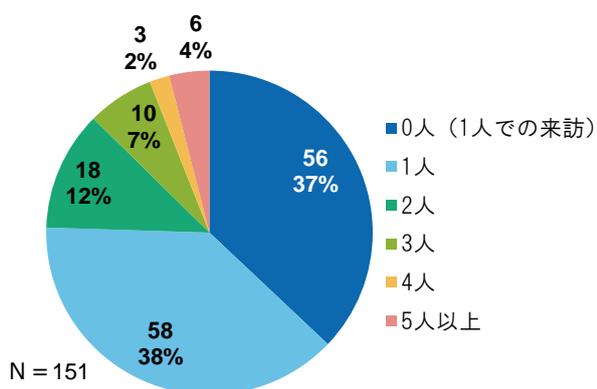
花ハスマつり開催期間のアンケート調査

つつじまつり開催期間のアンケート調査

6) 同伴者数

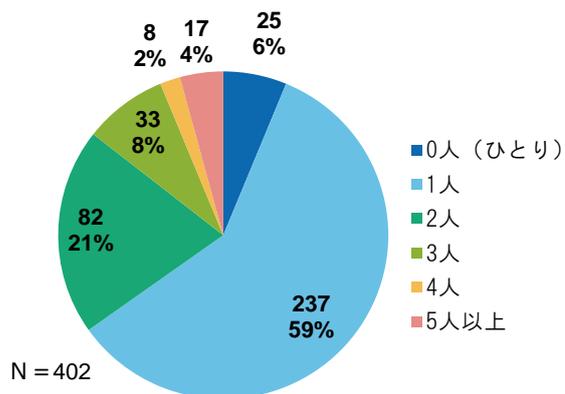
1人（2人での来訪）が38%と最も多く、次いで0人（1人での来訪）、2人（3人での来訪）の順となった。

0人（1人での来訪）もしくは1人（2人での来訪）が75%を占める。



1人（2人での来訪）が59%と最も多く、次いで2人（3人での来訪）、3人（4人での来訪）の順となった。

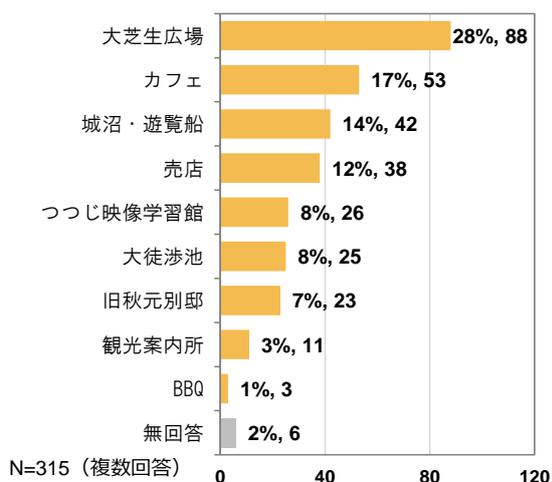
花ハスマつり開催期間の0人（1人での来訪37%）に対し、0人（1人での来訪）が少なく、3人以上（4人以上での来訪）の複数名での来訪が多い。



7) 利用経験のある施設

大芝生広場が88件と最も多く、次いでカフェ、城沼・遊覧船の順となった。

様々なイベントが開催されるほか、自由に利用できる大芝生広場の需要が高いようである。



設問なし

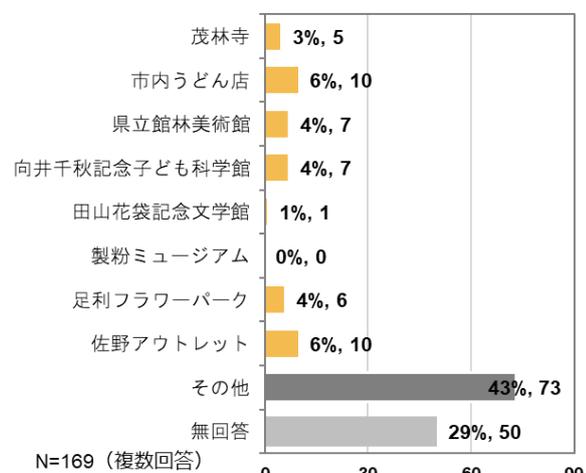
花ハスマつり開催期間のアンケート調査

つつじまつり開催期間のアンケート調査

8) 立寄り(予定)地点

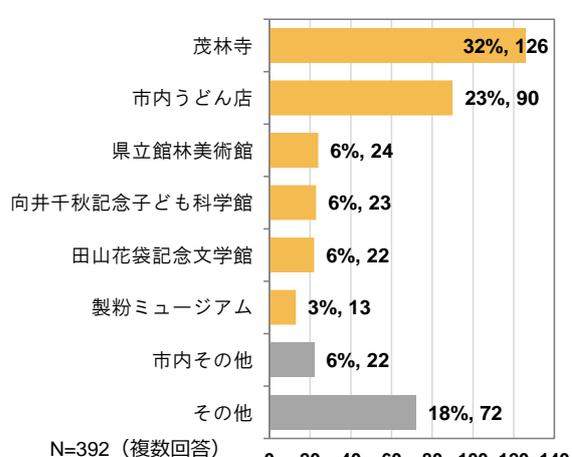
市内うどん店と佐野アウトレットが共に 10 件であった。

その他のうち、36 件が帰宅と回答しており、無回答と合わせて 86 件、回答者の半数以上が公園以外の立寄り（予定）がないことが分かる。



茂林寺が 32%と最も多く、次いで市内うどん店が 23%となった。

茂林寺は、花ハスマつり開催期間（3%）では立ち寄りが少なかったが、つつじまつり開催期間では最多となっており、観光地の相互利用がみられる。



2-2. 上位・関連計画 上位・関連計画では、計画地に関連する以下のような方針を示しています。

【上位・関連計画一覧表】

計画名	計画地との関連事項
館林市第6次総合計画 令和3年3月策定	◇基本目的4：経済と都市 21 観光 施策の方向4 四季を通して愛される公園づくり 「つつじのまち」としてのPRを推進するとともに、四季を通じて公園をはじめとする公共空間の利活用を推進し、交流人口の拡大や賑わいの創出を目指します。
館林市都市計画マスタープラン 令和3年3月策定	◇館林市が目指す将来都市構造 観光、交流拠点（城沼周辺） 日本遺産に認定された里沼とその周辺の公園等、自然環境を保全しつつ、人々が憩い親しめる空間形成を図る拠点。
東毛広域都市計画圏 都市計画 区域の整備、開発及び保全の方 針 (都市計画区域マスタープラン) 令和2年12月策定(群馬県)	◇館林市の位置付け：都市拠点（館林駅周辺） 〈拠点が担う機能・役割〉 主に、館林市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町を対象として、行政、商業、業務、医療等の都市的サービスの提供を行う 〈連携・補完する機能・役割〉 主に教育・医療機能について周辺の拠点と連携
館林市立地適正化計画 平成31年4月策定	◇まちづくりの目標 目標3：“人の交流を育む”まちづくり 取組方針1：歴史、文化、自然などの地域の資源を生かしてまちの魅力を高める 城下町としての歴史・文化、城沼や多々良沼、茂林寺周辺の自然資産、館林美術館など館林市ならではの地域資源を観光・地域づくりに有効活用していきます。
館林都市圏広域立地適正化に 関する基本方針 平成29年5月策定 (館林市、板倉町、明和町、千 代田町、邑楽町)	◇都市圏の基本目標 館林都市圏として広域連携を強化した快適で活力あふれるコンパクトなまちづくり ◇基本方針 ①居住及び都市機能の集積によるコンパクトで快適なまちづくり ②各市町のポテンシャルを最大限に生かせる効果的・効率的な都市機能の配置・誘導 ③誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成
館林市歴史文化基本構想 平成30年12月策定	◇歴史文化保存活用区域の方針 方針④ 躑躅ヶ岡と周辺の環境および景観の保全 国指定名勝「躑躅ヶ岡(つつじ)」の保全を前提としつつ、魅力向上を図る計画を策定する。また、つつじが岡公園や城沼などの周辺一帯についても、環境や景観保全のための制度創設やルールづくりを検討する。
名勝「躑躅ヶ岡」管理計画 平成24年3月策定	◇「躑躅ヶ岡」の保護・保存のための区域の設定と今後の管理 4)「躑躅ヶ岡」の景観維持のための計画 周辺の設備や工作物の設置にあたっては、「つつじの名園」との調和を考慮し、建造物の高さやデザイン、植栽等にも配慮してもらえよう働きかけていくものとする。
名勝「躑躅ヶ岡(つつじ)」保存 管理計画 平成21年4月策定	◇目標 ・古木の保存、継承のための措置の確立 ・景観保存、継承のための措置の確立 ◇方針 ・つつじの保護・保存のための管理 ・名勝「躑躅ヶ岡(つつじ)」の景観維持のための計画

2-3. 土地利用規制等

①土地利用規制

つつじが岡公園は、第一種低層住居専用地域・第一種中高層住居専用地域に指定されており、サイクリングターミナル南側の未供用公園用地は、市街化調整区域になっています。なお、計画地一帯は城沼風致地区になっています。

【法規制の状況】

第一種低層住居専用地域	
建築可能な建築物	<ul style="list-style-type: none"> 一 住宅 二 住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねるもののうち政令で定めるもの 三 共同住宅、寄宿舍又は下宿 四 学校（大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校を除く。）、図書館その他これらに類するもの 五 神社、寺院、教会その他これらに類するもの 六 老人ホーム、保育所、福祉ホームその他これらに類するもの 七 公衆浴場（風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和二十三年法律第二百二十二号）第二条第六項第一号に該当する営業（以下この表において「個室付浴場業」という。）に係るものを除く。） 八 診療所 九 巡査派出所、公衆電話所その他これらに類する政令で定める公益上必要な建築物 十 前各号の建築物に附属するもの（政令で定めるものを除く。）
高さ	10m以下
建ぺい率／容積率	建ぺい率 40％・容積率 80％
備考	-

【法規制の状況】

第一種中高層住居専用地域	
建築可能な建築物	一 第一種低層住居専用地域項第一号から第九号までに掲げるもの 二 大学、高等専門学校、専修学校その他これらに類するもの 三 病院 四 老人福祉センター、児童厚生施設その他これらに類するもの 五 店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するもののうち政令で定めるものでその用途に供する部分の床面積の合計が五百平方メートル以内のもの（三階以上の部分をその用途に供するものを除く。） 六 自動車車庫で床面積の合計が三百平方メートル以内のもの又は都市計画として決定されたもの（三階以上の部分をその用途に供するものを除く。） 七 公益上必要な建築物で政令で定めるもの 八 前各号の建築物に附属するもの（政令で定めるものを除く。）
高さ	-
建ぺい率／容積率	建ぺい率 60%・容積率 200%
備考	-

【風致地区の規制状況】

風致地区【城沼風致地区】	
建築物の位置、規模、形態、意匠	周辺区域における風致と著しく不調和でないこと
高さ	15m以下 ※第一種低層住居専用地域は 10m以下
建ぺい率	建ぺい率 40%
備考	・つつじが岡公園(総合公園)

②都市計画上の課題と事業参画へのハードル

サイクリングターミナルをはじめ、つつじが岡公園内に建設されているつつじが岡公園ふれあいセンターなどの施設は、建築基準法第 48 条第 1 項のただし書きによって建築が許可された施設です。

2-4. つつじが岡公園利用者ニーズ

つつじが岡公園の利用者ニーズを把握するため、花ハスマつり開催期間及び、つつじまつり開催期間にアンケート調査を実施しました。

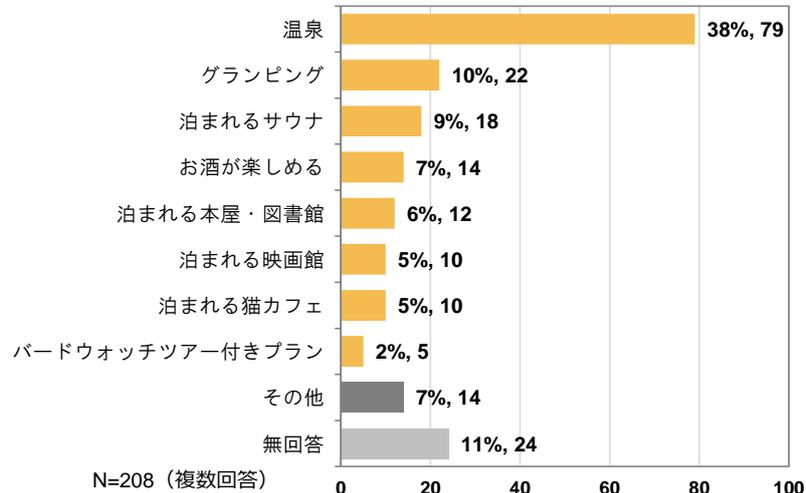
【利用したい施設】

花ハスマつり開催期間のアンケート調査	つつじまつり開催期間のアンケート調査																																																
<p>物販施設が53件と最も多く、次いでカフェ、バーベキュー施設の順となった。</p> <p>その他、水遊び場や室内アスレチックなどの子供が遊べる施設を求める回答が複数見られた。</p>	<p>物販施設（地元野菜や特産販売等）が38%と最も多く、次いでカフェ、体験施設（うどん打ちや工芸体験等）の順となった。</p> <p>体験施設は、花ハスマつり開催期間（7%）ではニーズが低かったが、つつじまつり開催期間では102件の回答があり、つつじまつりに訪れる遠方からの観光的来訪者からのニーズが高い。</p>																																																
<table border="1"> <caption>花ハスマつり開催期間のアンケート調査結果</caption> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>割合</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物販施設</td> <td>27%</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>カフェ</td> <td>18%</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>バーベキュー施設</td> <td>14%</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>グランピング施設</td> <td>7%</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>体験施設</td> <td>6%</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>図書スペース</td> <td>2%</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13%</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>13%</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=199 (複数回答)</p>	施設	割合	件数	物販施設	27%	53	カフェ	18%	36	バーベキュー施設	14%	27	グランピング施設	7%	15	体験施設	6%	13	図書スペース	2%	5	その他	13%	25	無回答	13%	25	<table border="1"> <caption>つつじまつり開催期間のアンケート調査結果</caption> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>割合</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物販施設</td> <td>38%</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>カフェ</td> <td>31%</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>バーベキュー施設</td> <td>7%</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>グランピング施設</td> <td>7%</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>体験施設</td> <td>16%</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>図書スペース</td> <td>1%</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=619 (複数回答)</p>	施設	割合	件数	物販施設	38%	235	カフェ	31%	190	バーベキュー施設	7%	41	グランピング施設	7%	42	体験施設	16%	102	図書スペース	1%	9
施設	割合	件数																																															
物販施設	27%	53																																															
カフェ	18%	36																																															
バーベキュー施設	14%	27																																															
グランピング施設	7%	15																																															
体験施設	6%	13																																															
図書スペース	2%	5																																															
その他	13%	25																																															
無回答	13%	25																																															
施設	割合	件数																																															
物販施設	38%	235																																															
カフェ	31%	190																																															
バーベキュー施設	7%	41																																															
グランピング施設	7%	42																																															
体験施設	16%	102																																															
図書スペース	1%	9																																															

【花ハスまつり開催期間のアンケート調査】

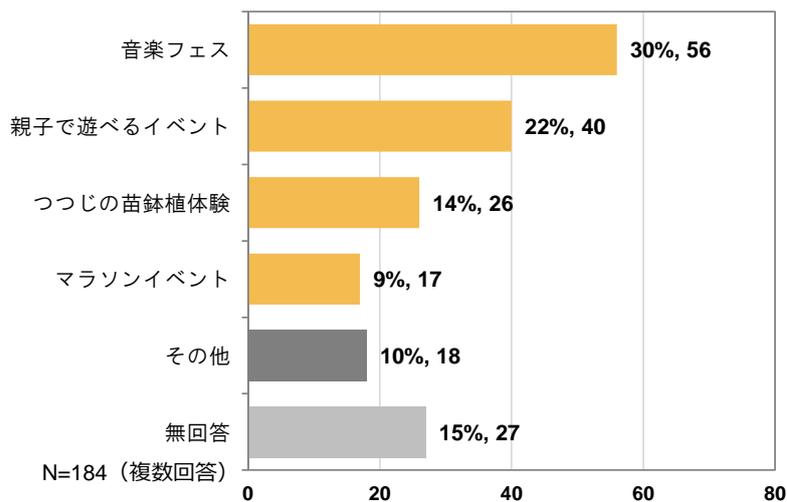
10) 利用したい宿泊施設

温泉が79件と最も多く、次いでグランピング、泊まれるサウナの順となった。
その他、犬と泊まれるホテルを求める回答もあった。



11) やってほしいイベント

音楽フェスが56件と最も多く、次いで親子で遊べるイベント、つつじの苗鉢植体験の順となった。



2-5. 計画地の課題

計画地の現況から、「①来訪者の減少」「②来訪シーズン・時間帯・属性の偏り」「③サイクリングターミナルの休止」の3つの課題が挙げられます。

【現況と課題】

現況

- ・ 公園の観光入込客数は30.1万人で、市内の主要観光地である茂林寺の約1.5倍、子ども科学館や県立館林美術館の約5倍と、市内有数の観光名所です。
- ・ 観光入込客数の推移では、平成29年度の32.9万人から平成31年度には30.1万人と3年で約1割減少しています。
- ・ つつじが岡公園の集客力の柱を担うつつじまつりにおける有料入園者数は、平成17年度の26.9万人から平成31年度には9.1万人と約6.5割減少しています。
- ・ つつじまつり開催期間におけるアンケート回答者の居住地は、98%が館林市外と遠方から多くの来訪があります。

- ・ 月別の観光入込客数では、4～5月の入込客数が全体の約6割と、つつじの開花時期に来訪が集中しており、その他の時期は1.3～1.4万人/月程度の利用に留まっています。
- ・ サイクリングターミナル休止後、つつじが岡公園の観光形態は、ほぼ日帰りによる利用であり、宿泊利用は少なくなっています。
- ・ アンケート回答者の年齢は、50代以上の高齢層が半数以上を占めています。

- ・ サイクリングターミナルには、平成25年度は約6,277人宿泊していましたが、平成28年度には約4,900人と約2割減少しています。
- ・ サイクリングターミナルは、施設の老朽化が進行しており、ボイラーや浴室の改修等を行う必要があるため、平成29年より施設の運営を休止しています。
- ・ サイクリングターミナル休止後、施設の存続を求める陳情書及び1,209名の署名が市へ提出される等、施設の営業再開を求める声が上がっています。

課題

①来訪者の減少

- ・ つつじが岡公園は本市有数の観光名所となっていますが、近年来訪者数は減少傾向にあります。
- ・ つつじが岡公園の集客力の柱を担うつつじまつりの有料入園者数が減少する等、花の魅力だけでは集客力が低下しているため、コンテンツの充実により、新たな公園来訪者の獲得を図ることが必要です。

②来訪シーズン・時間帯・属性の偏り

- ・ つつじ開花時期に来訪が集中しているなど、利用の偏りがみられます。つつじ開花時期以外の来訪目的を充実し、年間を通じて集客を図ることが必要です。
- ・ 利用者は高齢層が多く、若年層や子育て世代の獲得を図ることが必要です。
- ・ 大半が日帰り利用であり、滞在時間を延ばし、宿泊を促すような仕組みづくりが必要です。

③サイクリングターミナルの休止

- ・ サイクリングターミナルは現在休止しており、再整備を行い、再開することが必要です。